

短期海外派遣報告書

横浜市立大学附属市民総合医療センター
消化器病センター 外科 國崎 主税

平成 24 年 1 月 19 日から 21 日にかけて、米国 San Francisco にて開催された ASCO GI 2012 に JACCRO 短期海外派遣の一環として参加させて戴きました。私にとっては、20 歳の時に初めて home stay を経験した地であり、その後の訪米を含めても 15 年ぶりの San Francisco でした。予想どおり大変寒く、会期中はずっと雨でした。会場となった Moscone Convention Center は宿泊した hotel から 500m ほどの街中にあり、交通の便、治安は大変よかったです。しかし、会場内は恐ろしく寒く、“絶対に居眠りさせないぞ” との主催者の強い意思を感じましたので頑張って聴講していたのですが、16 時間の時差には勝てず、ちょっとだけ意識を失った時間帯がありました。初日は上部消化管、中日は肝胆膵、最終日は下部消化管と日めくり式にテーマが決まっており、専門外の分野でも比較的わかりやすく聴講することができました。しかし、本邦と欧米の治療戦略の違いに驚いた点多々ありました。論文ではその違いを理解していたつもりでしたが、目の前で当たり前のように、考えの違いをスピーチしているのを聞くと改めてその違いを実感することができました。今後、本邦でも取り入れなくてはならない点もあると考えます。

私が興味をもった演題は、上部消化管関連では、EVE の第三相試験、AVAGAST の subtype よる治療成績の解析などです。大規模臨床試験の大切さを痛感させられましたが、同時に付随した biomarker の検索結果を聞きますと、今後化学療法 of 症例選択の上で非常に大切な情報となることが理解できました。下部消化管関連では、ColoPrint を用いた進行度 II 大腸癌症例の予後解析の報告が非常に参考になりました。今後、日常臨床での活用が期待されます。毎日、午後に開催された answer pad を用いた聴講者参加のセッションは、興味深くまた楽しく参加でき、有意義な時間となりました。

最後に、このような機会を与えて戴きました JACCRO 関係者の諸氏に深く感謝申し上げます。